

*前期比：D I・季節調整済

景況

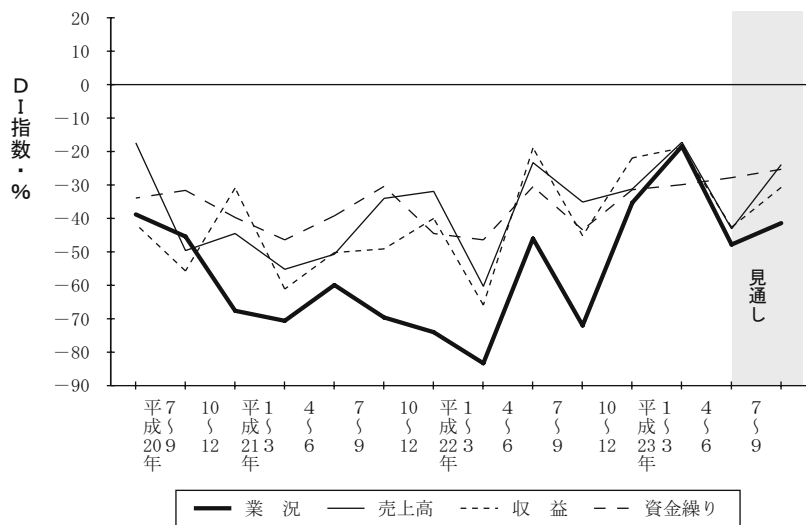
今期の業況判断DI値は-48と前期の予想DI値を14ポイント、実績DI値に比べると各業種の中で最大30ポイント悪化する結果となりました。売上、収益は後退、資金繰りについてはわずかに改善しました。設備投資については、前期に比べ10ポイント増加し、車両を中心に21%の先が実施しました。

来期の予想業況判断DI値は-41となり、今期の業況判断DI値を7ポイント改善すると予想しています。売上、収益、資金繰りはともに改善すると予想しています。設備投資については、今期に比べ2ポイント減少し、車両、事業用土地建物を中心に19%の先が実施を予定しています。

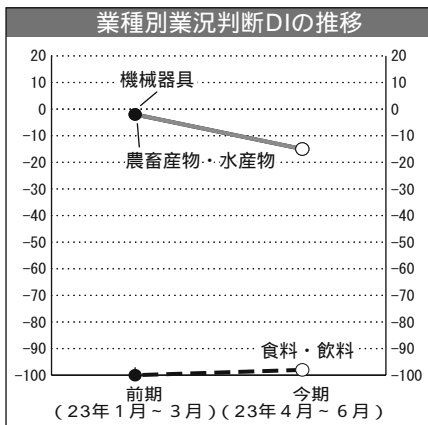
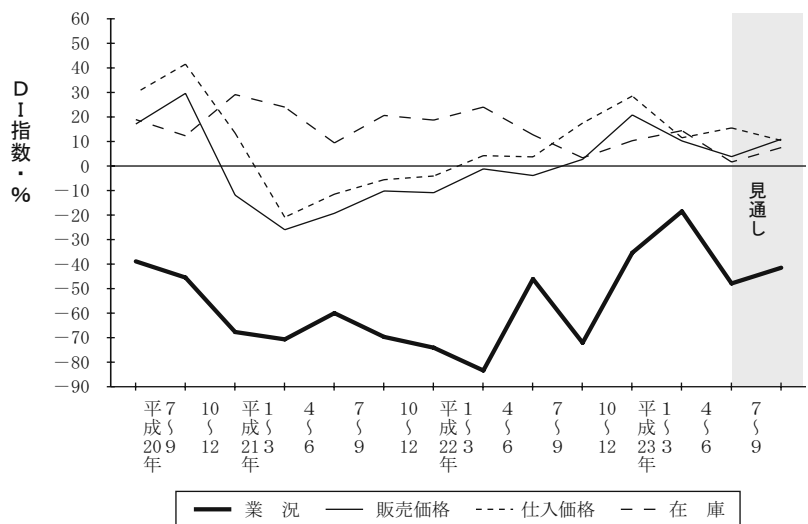
調査員のコメント

- 沿岸部の取引先が被災に遭い、代金の回収が難しくなってしまった。(医療機器卸業)
- 農業資材の販売時期と震災が重なり売上減少。今回の停電をうけ、発電機の購入を検討している。(種苗、農業資材卸業)

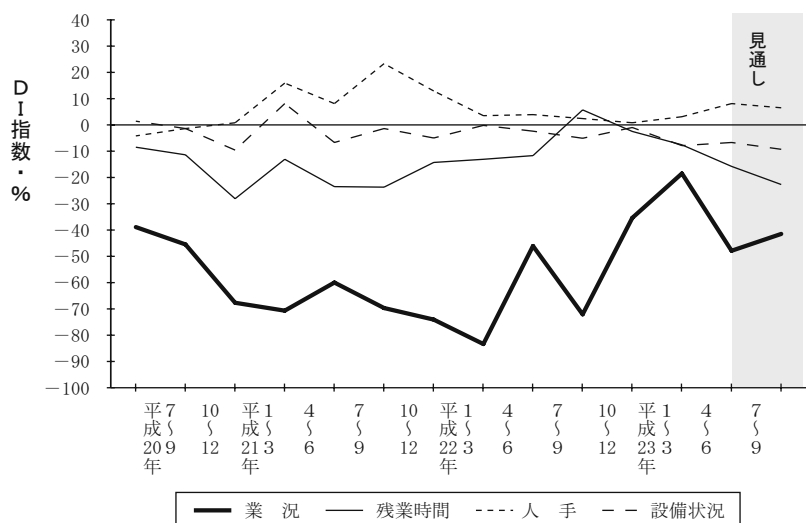
景況の推移



主な指標の動き



残業、人手、設備状況



順位	問題点	社数	割合
1位	売上の停滞・減少(1)	17社	(68%)
2位	同業者間の競争の激化(3)	11社	(44%)
3位	人手不足	1社	(4%)
	輸入品との競争の激化	1社	(4%)

順位	施策	社数	割合
1位	経費を節減する(2)	19社	(76%)
2位	販路を広げる(1)	15社	(60%)
3位	品揃えを充実する	6社	(24%)
	情報力を強化する(3)	6社	(24%)

*()は前回順位 *対象企業総数は25社